今日使うAIをえらぼう

●サービス名：Copilot
●提供元　　：Microsoft



●サービス名：ChatGPT
●提供元　　：OpenAI



●サービス名：Gemini
●提供元　　：Google



～生成AIを使ってシーンスケッチテストの作品をつくってみよう～

画像生成AI体験会

令和8年8月24日(月)14:00~16:00(小中学生対象)

今年のテーマ
私の暮らしにそっと寄り添う、
ロボットがいる毎日



熊谷市様 / 所要時間：2時間

CONFIDENTIAL
本情報は、NTT-MEが所有する情報であり、許可した目的以外で使用することを禁止します。
【提示先：熊谷市様及び許可された範囲に限る】

今日のゴール

2時間後にできるようになること

コンテストに出すための絵の案を作って応募する

- コンテストのルールがわかる
- 自分のアイデアを1つ決める
- AIへのお願い文を作る
- タイトルと説明をつける
- 応募する

今日の流れ

知る

- コンテストのルール
- AIで絵を作るしくみ
- 安全に使うルール

考える

- お題を選ぶ
- ロボットを考える
- AIへのお願い文を書く

仕上げる

- よい絵を選ぶ
- 文字を入れる
- 出す前に確認する
- 応募する

シーンスケッチコンテストとは



テーマ

私の暮らしにそっと寄り添う、ロボットがいる毎日

出せる期間

令和8年6月1日（月）～9月30日（水）

2つの部門

- リアルな暮らし：近い未来のアイデア
- 未来創造：もっと先の自由な未来

3つのお題

① 移動や配送を便利にしてくれる

② 熊谷の暑さを快適にしてくれる

③ 安心・安全なまちを創る

今年の大事な考え方

だれを、どんなロボットが助ける？

- ロボットは人型でなくてもよい
- 暑さ、見守り、買い物などから考える
- 熊谷らしさを入れると伝わりやすい

考える順番：人 → 困りごと → ロボット → 場面

AIで絵を作るとは

AIは、頭の中のイメージを形にする道具

- 文章で「こんな絵を作って」と伝える
- 短い時間で、いろいろな案を試せる
- 写真風・イラスト風などを選べる

大事なのは、人が「何を作るか」を決めること

NTT-ME Confidential

AIへのお願い文の作り方

お願い文は、AIに渡す絵のメモです

［何を］＋［どこで］＋［だれと］＋［どんな絵で］

- 何を：ロボット、子ども、まちなど
- どこで：駅前、学校、通学路など
- どんな絵で：写真風、イラスト風など

例えば、、、

公園で、友だちとロボットが遊んでいるようすを、
かわいいアニメ風で描いて

指示すると

AIが生成



短いお願い文を育てよう

少しずつ言葉を足します

- 最初：暑さをやわらげるロボット
- 次：どこで、だれを助けるかを足す
- 最後：時間、気持ち、絵の雰囲気を足す

例えば、、、

夏の昼休みの学校の校庭で、暑そうな子どもたちに
冷たい風を送るロボット。みんなが元気に遊べて
うれしい気持ちになる。明るく楽しいアニメ風イラスト。

指示すると

AIが生成



「どんなふうに暮らしがよくなるか」を入れよう

絵の雰囲気とサイズ

最初に決めると、作りやすくなります

写真みたいな絵

- 本当にありそう
- 生活が伝わる
- 近い未来に向く

イラストの絵

- 親しみやすい
- 説明しやすい
- 小学生にも伝わる

A4で出す

- A4よこ
- jpgで5MB以下

実習①：お題を選ぼう

5分ワーク：だれを、何から助けたい？

① 移動や配送を助ける

② 熊谷の暑さをやわらげる

③ 安心・安全なまちを創る

メモ欄

お題①：移動・配送

近い未来の例



絵で見せたいこと

- お年寄りの買い物を助ける
- 重い荷物を運び、道を案内する
- 家族で外に出やすくなる

出かける不安が減り、まちを楽しめる

お題②：熊谷の暑さ対策

近い未来の例



絵で見せたいこと

- 体育館の暑さを見守る
- 暑い場所にミストと風を送る
- 先生も子どもも安心できる

暑さをがまんするより、暑さと共存するまちへ

お題③：安心・安全

もっと先の未来の例



絵で見せたいこと

- 街灯とロボットが一緒に見守る
- 光で安全な道を教える
- 家族が安心して見守れる

事故が起きる前に、まち全体で守る

2つのコースの違い

近い未来か、もっと先の未来かを選びます

リアルな暮らし

- 数年後〜10年先
- 今ある技術をもとに考える
- 本当にありそうなアイデア

未来創造

- 10年以上先
- 自由に想像してよい
- 夢や希望のある未来

迷ったら

- 近い未来ならリアル
- 大きな夢なら未来創造
- 暮らしがよくなる場面を見せる

自分のロボットを考えよう

4つの質問で考えます

- 何を助ける？
- どんな形？ 人型・車型・ドローン型など
- だれが使う？ 子ども・お年寄り・家族など
- 使うと、くらしはどう変わる？



例えば、、、

何を助ける？：忘れ物をなくす
どんな形？　：小さな鳥型ロボット
だれが使う？：小学生
暮らしはどう変わる？：忘れ物をしないで学校へ行ける

指示すると

「かっこいい」だけでなく「役に立つ理由」を考えよう

絵の見せ方を考えよう

一枚の絵で、未来のくらしを伝えます

- 主役を決める：ロボット、人の顔、まちの変化
- 季節を入れる：真夏、夕方、雨の日など
- 小物を入れる：買い物袋、ランドセル、温度計

例えば、、、

主役：ロボット、小学生
季節：春の朝
小物：ランドセル、教科書、水筒

指示すると



ロボットだけでなく、人のくらしも描こう

実習②：お願い文を作ろう

順番にうめていけば大丈夫です

- 部門を選ぶ
- お題を選ぶ
- 困っていることと、ロボットの役目を書く
- 場所・人・気持ち・絵の雰囲気を足す

まずは一行で書いてみよう

できた絵をチェックしよう

そのまま使わず、必ず見直します

- 伝わる？ だれを助けているかわかる？
- 見やすい？ 主役がはっきりしている？
- 問題ない？ 文字や手の形がおかしくない？

よい絵でも、出す前に人の目で確認しよう

お願い文を直すコツ

足りない言葉を少しだけ足します

- 主役が小さい →「画面の中央に大きく」
- 場所が弱い →「熊谷駅前」「体育館」など
- 未来感が弱い →「センサー」「光るガイド」
- 生活感が弱い →「買い物袋」「ランドセル」

「自転車」のみ



「夜になると、光って道案内する自転車」



一度に長くしすぎず、少しずつ直そう

タイトルと説明文を入れよう

日本語の文字は、あとから入れるのが安全です

- タイトルは短く、わかりやすくする
- 説明文は「くらしがどうよくなるか」を書く
- 文字はPowerPointやCanvaで入れる

重要

作品の名前と、どんなロボットかをかこう！

出す前に必要なこと

忘れものがないか確認します

- データで出す：jpg / jpeg、5MB以下
- 紙で出す：A4サイズ
- AIを使ったら：お願い文とAI名を書く
- 作品：自分で作った、まだ発表していないもの

各部門に1人1作品ずつ出せます

安全にAIを使うために

トラブルにならないためのルール

- 本当にいる人にそっくりにしない
- 有名なキャラクターやロゴをまねしない
- 他の人の写真を勝手に使わない
- AIを使ったことを、決められた形で書く



迷ったら「使わない」「描き直す」が安全です

ルールチェック

みんなに見せても大丈夫か確認します

- 応募ルール：コース・お題・出し方を確認
- 権利：自分で作ったもの、使ってよい素材だけ
- 個人情報：名前・住所・顔写真を出さない
- 表現：人を傷つける表現にしない

合言葉：家族や先生に説明できる作品にしよう

実習③：作品を仕上げよう

最後は出せる形にします

- 1枚を選ぶ：一番伝わる絵
- 整える：余白、明るさ、色
- 文字を入れる：タイトルと説明
- 記録する：お願い文とAI名

仕上げ時間の目安：20分

作品を見せ合おう

もっとよくする時間です

- 発表：タイトル・コース・ロボットの役目
- 見るところ：テーマ、くらしの変化、見やすさ
- コメント：よいところと直すところを1つずつ

友だちの意見で、作品はもっとよくなります

まとめ

今年の作品づくりで大切なこと

- テーマ：ロボットがいる毎日
- 熊谷らしさ：暑さ、駅前、学校、まち
- 一枚の絵で、未来のくらしを伝える
- タイトル、説明、お願い文、AI名を残す
- 応募する

AIは、未来を考えるための道具です

作品を送ろう

つくった作品をメールで送りましょう

NTT-ME Confidential

- ファイル名を変えよう
  - 部門名（属性）_氏名

- メールに必要な内容を書こう
  - 部門
  - 設定シーン（①～③のどれか）
  - 作品タイトル
  - 住所
  - 氏名（ふりがな）
  - 年齢
  - 学校名（学年）
  - 連絡先電話番号
  - 何のAIを使ったか（ChatGPT、Gemini等）
  - プロンプト（全文でなく、伝えたい事がわかるように）

- 作品をメールにつけよう
  - jpgまたはjpeg
  - 5MB以下

- メールの送り先
  seisakuchosa@city.kumagaya.lg.jp

メールの送り先　QRコード

サンプル①：移動・配送

リアルな暮らし / お題①



お願い文に入れること

- 場所：熊谷駅前の歩道
- ロボット：小さな荷物運びロボ
- 人：お年寄りと家族
- よくなること：荷物運びと道案内
- 絵の雰囲気：明るい朝、写真みたい、A4よこ

※ 実際の長いお願い文は、先生が口頭で補足します。

サンプル②：暑さ対策

リアルな暮らし / お題②



お願い文に入れること

- 場所：真夏の体育館
- ロボット：暑さを見守るドローン
- 役目：温度と湿度を見る
- よくなること：風とミストで守る
- 絵の雰囲気：明るい、イラスト風、A4たて

※ 実際の長いお願い文は、先生が口頭で補足します。

サンプル③：安心・安全なまち

未来創造 / お題③



お願い文に入れること

- 場所：未来の熊谷市の通学路
- ロボット：街灯とつながる見守りロボ
- 人：横断歩道をわたる子ども
- よくなること：光で安全な道を教える
- 絵の雰囲気：夕方、映画みたい、A4よこ

※ 実際の長いお願い文は、先生が口頭で補足します。

アンケート・質問タイム

今日はありがとうございました

ご参加ありがとうございました

- アンケートにご協力ください
- わからないことは質問してください
- 質問フォームは当日版に差し替えます

アンケートはこちらから